

むこう...ふあみさぼ

地域でつながる第一歩

ふあみさぼ体験『ちよこつと列車』

★9月5日に開催し、6組の親子の参加がありました★



初めてママと離れるお子さんも多く泣いたり、笑ったり、眠ったりしながら援助会員の皆さんの温かいかわりの中で楽しい時間を過ごすことができました。



《今後の体験予定》

- ◇10月10日(木)『ふあみさぼルーム』
- ◇12月11日(水)『ちよこつと列車』

教えて！あなたのひやり、ハツと！

ヒヤリハット



★ベッドから落ちた！

初めて寝返りができた日の翌日。ちょっとミルクを取りにしている間に、ベッドから転落！柵をおろしている側に対して直角に寝かせていたのに…子どもの成長の早さに油断禁物だと身に沁みました。

★プロジェクターのライトが目にも・・・

6歳の子がホームシアターで遊んでいる時に、ライトを0歳の子に向けてあててしまいました。すぐに止めましたが、長時間あて続けると最悪失明につながるという聞いて「ヒヤリ」としました。

今後も皆さんからお寄せいただいたヒヤリハット体験を共有し、安全な援助活動や子どもが安心して過ごせる環境を整えるために活用したいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

＜援助会員の皆さまへ＞

活動報告書は 翌月15日までにセンターまたは東向日別館4階「子ども家庭課」へ封入のうえ、ご提出ください。また、来所が難しい場合は後納封筒（センター負担）をお渡ししますので、ご希望の方はご連絡ください。

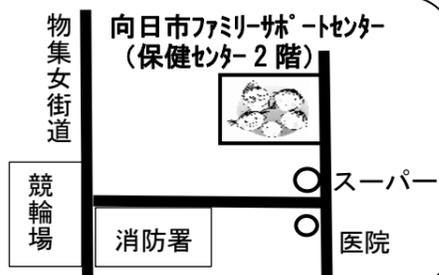
＜全会員の皆さまへ＞

今年度から、会員登録が自動更新になりました。今後は5年ごとに新しい会員証をお届けします。市外へ転居された方や、退会を希望される方はご連絡ください。

記録的な猛暑にパリオリンピック・パラリンピックと「暑い！熱い！」夏が終わり、秋の訪れを感じる季節となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。さて、今年度もいよいよ折り返し地点です。後期は10月に預かり体験「ふあみさぼルーム」、11月に「交流会」、1月にワークショップと新しい事業を企画しました。ファミサポを通して地域のつながり・子育て支援の輪が広がることを願っています。たくさんのご参加をお待ちしています。

向日市ファミリーサポートセンター

〒617-0002
向日市寺戸町東野辺 31
保健センター2階
TEL/FAX (075) 932-7831



子育てサポーター養成講座 6月3日～7月4日

今年度の講座には、9名の新規参加者があり、7名の方が援助会員として登録されました。地域のつながりの中で子育て支援の輪を広げる一歩になりました。



受講のきっかけは・・・



- わが子も成人し、自分の時間ができたので少しでも誰かの役に立ちたい！
- 子どもが好き。自分の都合に合わせて活動でき地域のつながりが広がって楽しそう！



家にある物を活用して遊べるアイデアこそ大切だと感じた。



救命処置の大切さを学び実際に体験することで、今後、救急の場でいかなることができると思う。



子育てする側は甘えていい。親も子も良い状態では周りの人の力が大切とわかった。

講師の皆さんがとても前向きで素敵な生き方をされていてパワーをもらった。

サポーターとして！

- 子どもと笑顔で関わり、お母さんに安心して自分の時間を作ってもらい、自分自身は子どもといっぱい楽しんで遊びたい。
- 親子の安全基地のひとつになれるように活動に参加したい。



地域で学ぶ防災教室 5月17日

援助会員としても活動されている防災士の方をお迎えして、センター初めての事業「防災教室」を開催しました。



防災グッズを手に取り使い方を確認！

講座では災害に備える知識や防災クッキングの紹介があり、防ぐ・備える・蓄えることの重要性を再確認しました。



援助活動紹介

今年も新しい出会い・活動が始まっています。



依頼会員のUさんは、秋からの職場復帰の準備のため、月に数回、2時間程度の預かりを援助会員のKさんに依頼しました。



6か月を過ぎて、人見知りや後追いなど、私がパソコンに向かうだけで泣いて困っていました。Kさんに預けてみて、家族以外の人と会う機会ができたことで、一時保育にも早く慣れたように思います。しっかり向き合ってくれて遊んでもらえ、子どもにとっても良い時間でした。

(依頼会員Uさん)

最初は泣き続けることもありましたが、ベビーカーで散歩したり、場所を援助会員宅に変えて回数を重ねる中で、自分から遊べるようになりました。保育所入所までの3か月間、毎回成長していく姿が見られて嬉しかったです。預かる場所の変更など、お母さんと一緒に考えていくことが大事だと実感しました。

(援助会員Kさん)



依頼会員のNさんは、家で過ごす時間が長くなる夏休みの間、小学1年のお子さんの見守りを2人の援助会員さんに依頼しました。

子どものペースで遊んでもらい、同じ目線でたっぷり話を聞いてもらえるので、本人は夏休み後も続けてほしいと言います。親はつい口を出してしまうので、家族以外の関わりは大切です。

(依頼会員Nさん)

毎回、読んでほしい本を準備してくれ、自作のレゴや作品を見せてくれます。大好きな宇宙や歴史のこと、友だちのことも話してくれて、あっという間に時間が過ぎます。

(援助会員Yさん)



同い年の孫がいるので、孫が増えたみたいで楽しいです。おもちゃの扱いも丁寧で片付けもきちんとしてくれます。人の家で過ごす経験も大事ですね。

(援助会員Iさん)

